

【北川小の子どもたちをさらに伸ばすためのアンケートを受けて】

○ **保護者、教職員、児童が、北川小学校の教育に対して肯定的な評価をしている項目が多い。学校関係者（学校運営協議会委員）の皆様からの評価も高くなっている。**

（特に、評価が高い項目）

- ⑧学校は、安全な登下校や危険から身を守る態度の育成に努めている。
- ⑪先生は、子どもたちに公平に接し、優しさ、愛情、厳しさをもって指導している。
- ⑳学校は、タブレットや大型テレビ等を効果的に活用したICT教育を推進している。
- ㉒学校は、教育目標や教育方針、学校の課題、必要な情報等をPTA総会や学級懇談、学校通信等を通して分かりやすく伝えている。
- ㉓学校は、保護者、地域と連携し、北川の自然や文化等を生かしたふるさと教育や、夢や将来につながるキャリア教育を充実させようと努めている。
- ㉕学校は、保護者からの相談に誠実に対応している。
- ㉖学校は、来校者や電話に対して、丁寧に気持ちよく対応している。

- ⑧⑪㉒㉕㉖の評価が高いことから、保護者が北川小を信頼し、教職員が協力して、児童の育成に努めていることが分かる。保護者からの信頼を保つためにも、今後も、丁寧に指導していくように努める必要がある。
- 昨年度までも、ふるさと教育やキャリア教育の充実に努めていたが、今年度、㉓の評価が上がっているのは、教職員が地域との連携を意識して学習を計画してきたからだ考える。ユネスコスクール認定も一つの要因だと思われる。
- ㉕㉖の評価が高いので、保護者や来校者、電話対応等は、今後も誠実に行っていききたい。

（評価が低い項目）

- ・子どもたちは、自分の持ち物や使う物の整理整頓や後片付けができています。
- ・子どもたちは、進んで読書をし、本に親しんでいます。
- ・子どもたちは、メディアコントロールを意識して生活することができています。

- 持ち物の整理整頓や後片付けについては、保護者と教職員の評価が低く、児童の評価は低くなかった。保護者、教職員と、児童との意識の差があるため、児童に整理整頓や後片付けの大切さを考えさせる必要がある。
- 読書については、3者ともに評価が低かった。これまでにも、本に親しむための活動に多く取り組んでいることを考えると、取組の内容を見直していく必要がある。北川分館の方々や読書ボランティアの方とも協力して知恵を出していきたい。ただ、学校からの呼びかけや指導だけでは限界もあるため、家庭の協力もいただきながら読書活動の推進を進めていきたい。
- メディアコントロールについては、3者とも評価が低かった。学校でも児童に対してメディアリテラシーの学習やタブレットの使い方を通して啓発を続けている。また、MLB（メディア・ライフ・バランス）週間を3回実施し、児童が自分の生活を振り返られるように取り組んだ。学校でも指導を続けていくが、ご家庭でもルールを決めていただいたり、子どもとメディアについて考える時間を取っていただいたりするなど、児童が自分でメディアコントロールできるように声掛けや見届けをしていただくと、大変ありがたい。

★ 北川小の子どもたちをさらに伸ばすためのアンケートへのご協力、本当にありがとうございました。今後も、全職員で、北川小の子どもたちを伸ばしていけるよう努めてまいりますので、どうぞよろしくをお願いします。